

## 2011年度 入試について

2011年度入試は、例年と同様の2月8日～17日の10日間で実施します。会場は多摩・後楽園両キャンパスを含め、全国11会場となっています。

昨年度との変更点は、①法学部一般入試に4教科型（英語、国語、数学、地歴公民）を新設、②商学部大学入試センター試験利用入試単独方式の4教科型・3教科型の併願が可能、③統一入試の総合政策学部が4・3教科型入試ともに学科選択制に変更、で志願者の受験機会の拡大となりました。

本学を取り巻く環境としては、大学志願者が昨年度に続き増加の見込みであるものの、長引く景気の低迷と就職環境の悪化から、「国公立志向のさらなる上昇」「文低理高を含む受験生の安全志向性の増」等の傾向がみられます。本学にとっては今年度も厳しい状況となりそうですが、入学センターを中心に高等学校・予備校等でのガイダンス、ミニオープンキャンパスや施設見学会等、学生募集プロモーションを積極的に展開し、厳しい状況に対応すべく努力しています。

本学の国際化推進策の一環として、法学・商学・総合政策研究科は、本学では初めてとなる海外での入試を中国（北京）にて2010年7月17日（土）に実施しました。志願者数は当初の予想を下回る11名でしたが、非常に質の高い志願者を集めることができ、9名の合格者を出しました。この合格者は、入学手続完了後、2011年4月より本学の研究科生として入学する予定です。

2011年は、法学・商学・総合政策研

究科に経済学研究科が加わり4研究科が2010年と同様に本学と友好協力協定を締結している「中国国際青年交流中心」に業務委託を行い、2011年5月20日（金）・21日（土）に入試を実施します。2011年度入試からは、入学者を2011年9月から選科生として受け入れ、翌年4月には研究科生として受け入れる2年半プログラムを立ち上げます。これにより受入体制の充実を図り、志願者増に向け取り組んで参ります。

## 大学院入試を 北京で実施

## オープンキャンパス実施報告

毎年夏に実施する受験生対象のオープンキャンパスに、2010年度は全体で2万5千名を超える本学史上最多の来場者がありました。

学部ガイダンスや模擬授業、相談コーナーをはじめ、多摩キャンパスでは学生ガイドによるキャンパスツアー、後楽園キャンパスでは研究室を公開するなど、充実したプログラムとなり、アンケートでは来場者の約83.6%から「非常に満足」「ある程度満足」との回答が得られました。また、「学校の雰囲気、環境が大

変よかった」「中大生の印象がとてもよく、入学したいという意思が高まった」など、キャンパスや施設などの環境面、また、学生スタッフの対応に好感を持つ

回答が多かったのも特徴的でした。

今後も、中央大学の魅力を伝えるイベントの一つとして、一層の充実をめざしています。

